

令和5年度
博物館等施設事業
報 告 書

軽井沢町教育委員会

目 次

項 目	ページ
歴 史 民 俗 資 料 館 事 業 報 告	1
旧 近 衛 文 麿 別 荘 (市 村 記 念 館) 事 業 報 告	3
追 分 宿 郷 土 館 事 業 報 告	4
堀 辰 雄 文 学 記 念 館 事 業 報 告	8
軽 井 沢 町 植 物 園 事 業 報 告	10
室 生 犀 星 記 念 館 事 業 報 告	12
シ ョ ー ハ ウ ス 記 念 館 事 業 報 告	13
軽 井 沢 型 絵 染 美 術 館 事 業 報 告	14

令和5年度 歴史民俗資料館事業報告

1. 開館

期 間 令和5年4月1日（土）～令和5年11月15日（水）

（11月16日以降学校社会科見学等の受入れあり）

休 館 日 毎週月曜日（7月15日～10月31日休館日なし）

2. 入館者数

令和5年4月1日～令和6年3月31日：3,968名（前年比 +845名）

3. 事業内容

（1）常設展

「道の文化史」を基本テーマに据え、第1展示室は「道の文化史と軽井沢」第2展示室は「別荘の沿革・別荘と文学活動」、第3展示室は「高冷地の暮らしと民具」のサブテーマに沿った資料を展示。また、杉浦非水・翠子夫妻の資料や中国陶磁器（吉沢三朗記念館）も展示。

（2）特別企画展

町制施行100周年記念特別企画展

「写真・ハガキで見る歴史展 軽井沢の今昔」

・期 間 7月1日（土）～11月15日（水）

①特別企画展文化講座

「別荘開発に見る軽井沢の歴史」

・日 時 7月22日（土）午後1時30分～

・開催場所 中軽井沢図書館 2階 多目的室

・講 師 内田 青蔵 氏（神奈川大学建築学部特任教授）

・参 加 者 39名

（3）秋季特別展

・「ポール・ジャクレー展」～軽井沢を愛したフランス人浮世絵師

ポール・ジャクレー 木版画展～

・期 間 9月1日（金）～10月31日（火）

（4）文化講座

「浅間山演習地化反対運動・再考～70周年にあたっての論点」

・日 時 10月1日（日）午後1時30分～

・開催場所 中軽井沢図書館 2階 多目的室

・講 師 大串 潤児 氏（信州大学人文学部教授）

・参 加 者 57名

（5）歴史体験講座

「盆栽講座」

・日 時 5月13日（土）午前9時30分～

・参 加 者 15名

(6) その他

- ・職員研修・諸会議等への参加
 - ・県博物館協議会総会及び北信越博物館協議会総会・研究協議会(県立美術館)
 - ・第2回文献資料保存活用講習会(県立歴史館)
 - ・学芸員等視察研修(松本市立博物館・安曇野市文書館・臼井吉見文学館)
 - ・第18回無形民俗文化財研究協議会(東京文化財研究所)
 - ・第3回文献資料保存活用講習会(県立歴史館)
 - ・博物館関係職員等研修会(県立歴史館)
 - ・やさしい日本語基礎講座 オンデマンド研修
 - ・日本博物館協会第2回研究協議会 オンライン実施
- ・町内児童他研修・視察利用
 - ・軽井沢町教職員初任者研修(地域研修)、軽井沢病院医療実習生研修
新任教職員研修、トムソーヤクラブ
 - ・町内学校等の利用 3校 軽井沢高校、西部小学校、中部小学校
- ・町内学校等「出前講座」関係
 - ・西部小学校 軽井沢ゼミ 2023 「軽井沢の今と昔」(12月15日)
 - ・中部小学校 4学年社会科 「郷土をひらく-保温折衷苗代」(2月28日)
- ・夏休みクイズ実施(児童・生徒用)(7月29日～8月31日)
- ・町ホームページに記載(随時) ・「資料館だより」月1回更新
- ・収蔵資料: 21,965点
【うち本年度寄贈38件(175点)・購入8件(112点)】
- ・設備等の整備: 9件
 - 保健休養地軽井沢の歩み「略年譜」パネル修繕、ギャラリー「蔵」エアコン修理
 - 旧雨宮邸新座敷窓ガラス交換等修繕、旧雨宮邸新座敷屋根瓦部分交換修繕
 - 資料館・旧近衛文麿別荘駐車場注意看板修繕、資料館女子トイレ等改修工事
 - 資料館男子トイレ下ピット内コンセント移設修繕
 - 吉沢三朗記念館寄贈品室壁紙張替修繕、資料館ドアクローザー交換修繕
- ・備品 刈払機購入

4. 今年度の評価(現状と課題)および今後の方向性

特別企画展「写真・ハガキで見る歴史展 軽井沢の今昔」および「ポール・ジャクレー展」が好評であり来館者増につながった。また、観光ツアー、職員研修、小中高の学校の社会科見学などの団体の受け入れを積極的に行ったことも増加の一因と思われる。なお、開催した2つの文化講座「別荘開発に見る軽井沢の歴史」と「浅間山演習地化反対運動・再考～70周年にあたっての論点」も好評であった。

今後は所蔵資料の公開を進め、魅力ある博物館運営に取り組むとともに、出前講座についても積極的に行い、地域の担い手となる子どもたちにとって地元の歴史や文化を学び考えることのできる身近な施設となるよう事業展開を進めたい。

令和5年度 旧近衛文麿別荘（市村記念館）事業報告

1. 開館

期 間 令和5年4月1日（土）～令和5年11月15日（水）

休 館 日 毎週月曜日（7月15日～10月31日休館日なし）

2. 入館者数

令和5年4月1日～11月15日： 3,214名（前年比 +347名）

3. 事業内容

（1）常設展

- ・建物は元近衛文麿の別荘で、親交のあった政治学者の市村今朝蔵・きよじ夫妻が購入し南原に移築された後、現在ある雨宮池の東端に移築し、市村家のご遺族より町に寄贈された。避暑地軽井沢と、大正時代の和洋折衷の洋風建築への理解を深めるために公開している。近衛文麿や土地にゆかりのある雨宮敬次郎、市村夫妻に関する資料を常設展示している。
- ・展示物 近衛文麿、雨宮敬次郎、市村今朝蔵・きよじ関連資料、掛軸、愛用品、南原思い出のアルバム、移転の記録等の展示

（2）その他

- ・こもれびの街講座実施
- ・町ホームページに記載（随時） ・「資料館だより」月1回更新
- ・収蔵資料：109点
- ・設備等の整備：3件
 - 8月：離山公園内公衆トイレ身障者用トイレ内手洗い水栓修繕
 - 11月：旧近衛文麿別荘防犯カメラ修繕（建物災害共済適用）
 - 3月：蓄音機修繕

4. 今年度の評価（現状と課題）および今後の方向性

建物使用者の歴史に加え、避暑地軽井沢の建築を肌で感じることができる施設の一つとなっているため、見学者は増加傾向にある。また、環境を生かした結婚式の前撮り希望も多く、今後も建物の保全及び周辺整備、情報発信に努めていく。

令和5年度 追分宿郷土館事業報告

1. 開館

期 間 令和5年4月1日（土）～令和6年3月31日（日）
休 館 日 毎週水曜日（7月15日～10月31日休館日なし）

2. 入館者数

令和5年4月1日～令和6年3月31日：8,872名（前年比 +2,201名）

3. 事業内容

（1）常設展

追分・軽井沢町西地区の資料等を展示し、江戸時代を中心に古代から現代までの歴史を紹介。

（2）企画展

①町制施行100周年記念 特別企画展「高原の村 信濃追分物語」

・期 間 7月23日（日）～8月27日（日）

②「稲垣黄鶴 書の世界～ふるさとへの想いをこめて～」

・期 間 7月1日（土）～10月31日（火）

・会 場 離山公園旧雨宮邸新座敷

③町制施行100周年記念 軽井沢町無形民俗文化財指定記念 「追分節と熊野皇大神社太々神楽」

・期 間 9月16日（土）～11月5日（日）

④町制施行100周年記念 「近代作家 直筆原稿38人展」

・期 間 11月11日（土）～令和6年3月3日（日）

※堀辰雄文学記念館との合同展示

⑤「江戸時代のトラベルガイド」

・期 間 令和6年3月11日（月）～7月15日（月・祝）

（3）散策会

①春の散策会 （子ども対象）

・日 時 令和6年3月24日（日）午前10時～

・講 師 郷土館学芸員

・コ ー ス 追分宿（追分宿探検マップをもとに散策）

・参 加 者 7名

（4）各種講座等

①古文書講座

・日 時 8月10日（木） 初級：午前10時～ 中級：午後1時～

・講 師 深谷 大 氏（日本文化研究者）

・参 加 者 初級 13名 中級 11名 計24名

②刀剣見学会

・日 時 8月11日（金） 午後1時30分～

- ・ 講 師 佐藤 ケイスケ 氏 (刀剣ユーチューバー)
- ・ 参 加 者 28 名

③教養講座 1 (気象庁職員の出前講座)

- ・ 日 時 8 月 12 日 (土) 午後 1 時 30 分～
- ・ 会 場 追分公民館
- ・ 演 題 「浅間山の火山活動と軽井沢の 100 年」
- ・ 講 師 飯島 聖 氏 (気象庁浅間山火山防災連絡事務所 所長)
- ・ 演 題 「気象台が発表する防災気象情報について」
- ・ 講 師 須山 英典 氏 (長野地方気象台 防災管理官)
- ・ 参 加 者 23 名

④教養講座 2

- ・ 日 時 8 月 20 日 (日) 午後 1 時 30 分～
- ・ 演 題 「追分と大般若経—浅間山への祈り—」
- ・ 講 師 笹本 正治 氏 (長野県立歴史館特別館長・信州大学名誉教授)
- ・ 参 加 者 19 名

⑤追分の森 カフェサロン —学ぼう結の文化—

- ・ 日 時 8 月 26 日 (土)
- ・ 会 場 追分公園
- ・ 第 1 部 基調講演 午後 1 時～
演 題 「太古から現代までの追分の歴史」
講 師 岸本 豊 氏 (中山道 69 次資料館館長)
- ・ 第 2 部 シンポジウム 午後 2 時～
テ ー マ 「追分の生活と交流」
ファシリテーター 内堀 次雄 氏 (追分区長)
パネラー 追分の皆さん
- ・ 第 3 部 追分節披露 (追分馬子唄・信濃追分) 午後 3 時 45 分～
出 演 追分節保存会
- ・ 参 加 者 102 名

⑥軽井沢リゾートコンサート

- ・ 日 時 9 月 18 日 (月・祝) 午前 11 時～、 午後 2 時～
- ・ 出 演 者 彩美歌
(高島敦子氏 (ソプラノ)・木下泰子氏 (メゾソプラノ)・三宮美穂氏 (メゾソプラノ))
- ・ 参 加 者 75 名

⑦町無形民俗文化財披露・講演会

- ・ 日 時 10 月 21 日 (土) 午後 1 時～
- ・ 無形民俗文化財披露
 - 1) 追分節 (追分馬子唄・信濃追分) 追分節保存会
 - 2) 熊野皇大神社 太々神楽 (散米の舞・千箭の舞・鳥の舞) 軽井沢御神楽保存会
- ・ 講演会
 - 1) 演 題 「追分節の魅力と意義 —今に続く街道の歌声をめぐって—」
講 師 深谷 大 氏 (早稲田大学 演劇博物館招聘研究員)

- 2) 演 題 「無形文化遺産としての神楽～熊野皇大神社の御神楽からみる～」
講 師 久保田 裕道 氏
(国立文化財機構東京文化財研究所 無形民俗文化財研究室長)

・参加者 86名

(5) 「近代作家 直筆原稿 38 人展」関連イベント

①対談会

- ・日 時 12月2日(土) 午後2時～
- ・対談者 窪島 誠一郎 氏(無言館 館主) × 古市 憲寿 氏(社会学者)
- ・テーマ 「文学について」
- ・参加者 65名

②朗読会(読夢(よむ)の会メンバーによる)

- 第1回 日 時 12月17日(日) 午後2時～
朗読者 中村 敦夫 氏(俳優)
作 品 菊池 寛 著 「入れ札」
参加者 58名
- 第2回 日 時 令和6年1月28日(日) 午後2時～
朗読者 二木 てるみ 氏(女優・声優)
作 品 林 芙美子 著 「風琴と魚の町」
参加者 58名
- 第3回 日 時 令和6年2月18日(日) 午後2時～
朗読者 国井 雅比古 氏(元NHKエグゼクティブアナウンサー)
作 品 堀 辰雄 著 「繪はがき」「窓」「辛夷の花」
参加者 51名

(6) 箏曲演奏会

- ・日 時 11月3日(金・祝) 午後1時～
- ・演奏者 山下 庸子 氏、土屋 歌須聖 氏
- ・参加者 20名

(7) 子ども歴史体験講座

(夏休み7月・8月)

- ・講 座 つる細工、大八車作り、機織り体験、まが玉作り、七宝焼き、
縄文土器作り、大名御膳作り、お天気と火山体験教室
- ・参加者 186名(保護者含む)
(11月18日)
- ・講 座 縄文土器野焼き体験教室
- ・参加者 24名(保護者含む)
(春休み3月)
- ・講 座 つる細工、機織り体験、竹ぼうき作り、お手玉作り
- ・参加者 67名(保護者含む)

(8) 追分節後継者育成事業

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止

(9) その他

① 職員研修・諸会議等への参加

- ・長野県博物館協議会総会及び北信越博物館協議会総会・研究協議会(県立美術館)
- ・学芸員等視察研修(松本市立博物館 安曇野市文書館・臼井吉見文学館)
- ・第18回無形民俗文化財研究協議会研修会(東京文化財研究所)
- ・第3回文献資料保存活用講習会(県立歴史館)
- ・博物館関係職員等研修会(県立歴史館)

② 学校教育等の利用(館内見学)

- ・学校7校(立教大文学部、鷗友学園女子中等部、中野区立美鳩小学校、
豊野高等専修学校、東洋英和女学院小学部、中野区立北原小学校、
中部小学校)
- ・その他3件(軽井沢病院医療実習生研修、町内教職員研修、
ボーイスカウト軽井沢第8団)

③ 館内展示クイズ実施(児童・生徒対象) 7月23日～8月27日

④ 町ホームページに記載(随時) ・「郷土館だより」を月1回更新

⑤ 収蔵資料: 12,762点(うち本年度寄贈 53点・購入 43点)

⑥ 設備等の整備: 3件(防犯カメラ修繕、道標補修・設置修繕、消防用設備修繕)

4. 今年度の評価(現状と課題)および今後の方向性

- ・町制施行100周年記念として、特別展において追分を中心に西長倉村の100年前を紹介し、町内外の多くの方に追分地区を知ってもらおうきっかけとなった。また、会期中における関連イベントとして追分区、軽井沢観光協会の協力のもと「追分の森カフェサロン」の開催により、地元住民、移住者、別荘の方々等、幅広い交流の場となった。今後も地域の博物館としての役割を広げていく。
- ・「追分節」と「太々神楽」が6月に町の無形民俗文化財に指定され、企画展を開催したことで多くの方に知っていただくことができた。今後も無形民俗文化財の普及に努めていく。また、追分節後継者育成事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、4年にわたり休止状態であったが、令和6年度は、講師である追分節保存会と連携を図り、再開したい。
- ・「近代作家直筆原稿38人展」及び関連イベントにより、12月～2月の集客につながったが、入館者は昨年より増加しているものの、コロナ以前との比較では、少ないため、効果的なPR活動に努め、魅力ある企画展の開催をしていきたい。

令和5年度 堀辰雄文学記念館事業報告

1. 開館

開館期間 令和5年4月1日（土）～令和6年3月31日（日）

休館日 毎週水曜日（7月15日～10月31日休館日なし）

2. 入館者数

令和5年4月1日～令和6年3月31日： 6,741名（前年比 +884名）

3. 事業内容

（1）常設展の開催

堀辰雄の「生涯と文学」を6ブロックに分け、各コーナーをパネル、収蔵する遺愛品、原稿、書簡、写真等の資料により展示して紹介。

（2）企画展の開催

①「堀辰雄没後70年 神西清生誕120年 堀辰雄文学入門」

・期 間 令和5年3月16日（木）～7月11日（火）

②「町制施行100周年記念 堀辰雄来軽100年 堀辰雄と歩く軽井沢」

・期 間 令和5年7月13日（木）～11月5日（日）

③「町制施行100周年記念 近代作家直筆原稿38人展」

追分宿郷土館と共同で展示

堀辰雄文学記念館 14人34枚展示

追分宿郷土館 24人49枚提示

・期 間 令和5年11月11日（土）～令和6年3月3日（日）

④「堀辰雄と古典文学の世界」

・期 間 令和6年3月16日（土）～7月7日（日）

（3）講座等の開催

①野いばら講座

・日 時 5月28日（日） 午後1時30分～

・演 題 「刎頸の交わりとしての堀辰雄と神西清」

・講 師 岡本 英敏 氏（慶應義塾大学湘南藤沢中等部・高等部教諭）

・参加者 42名

②緑陰講座（2講座）

第1回

・日 時 8月6日（日） 午後1時30分～

・演 題 「堀辰雄と軽井沢」

・講 師 大藤 敏行 氏（軽井沢高原文庫館長）

・参加者 40名

第2回

・日 時 8月19日（土） 午前10時30分～

・演 題 「堀辰雄文学の光彩」

・講 師 長田 真紀子 氏（上田女子短期大学 教授）

・参加者 30名

③夏休み子どもの文学講座

・日 時 8月17日（木） 10時～

・会 場 追分公民館

- ・講師 なおやマン氏・しま：アイ氏

「ことばTシャツ～夏の思い出をとじこめたTシャツづくり～」

- ・参加者 18名

④堀辰雄を語る会

- ・日時 11月26日(日) 午後1時30分～

- ・会場 追分公民館

- ・演題 「時代と空間を超える堀辰雄の“メルヘン”『羽ばたき』を中心に」

- ・講師 大石紗都子氏(武蔵野美術大学造形学部教養文化・学芸員課程研究室准教授)

- ・参加者 17名

⑤春休み子どもの文学講座

- ・日時 令和6年3月23日(土) 午後1時30分～

- ・講師 軽井沢ボランティア団体「ほっとここあ」

「わくわく楽しい飛び出す紙芝居」

- ・参加者 10名

(4) 秋の朗読会

- ・日時 10月14日(土) 午後1時30分～

- ・朗読者 軽井沢図書館ボランティア「オオルリ」

- ・参加者 18名

(5) 軽井沢リゾートコンサート

- ・日時 10月29日(日) 午前11時～、午後2時～

- ・出演者 竹内 遥香氏(ハープ)、渡辺 幸絵氏(フルート)

- ・参加者 59名

(6) 「新編 軽井沢文学散歩」発刊

町制施行100周年記念事業の一環として「軽井沢文学散歩」(昭和43年初版)を全体的に見直し、8月1日に発刊。

- ・印刷部数 2,000冊

- ・価格 1,650円(町文化施設及び町内書店等で販売)

(7) その他

①学校教育等の利用

- ・東洋英和女学院小学部 7月18日・21日児童75名 引率10名

- ・西保育園遠足 10月12日 園児105名 引率18名

②町ホームページに記載(随時)・「O村だより」

③収蔵資料：9,449点(うち本年度寄贈29点、購入149点)

④設備等の整備4件(手洗台自動水洗化、常設展示棟外壁塗装、外部灯油タンク蛇口及び同タンク小屋屋根凹み修理)

⑤備品購入1件(クリーニングボックス)

⑥上皇、上皇后両陛下ご来館

8月28日(月) 午後5時から6時

町長、教育長のお出迎えの後、館長、学芸員による施設内案内及び展示品の説明

4. 今年度の評価(現状と課題)および今後の方向性

- ・堀辰雄は、未だ根強い人気があるがコロナ禍において入館者数は半減した。令和5年度は5類に移行し回復傾向にあるものの、コロナ禍以前と比べ76%程度に留まっている。今後支持者の高齢化に伴い年々減少していくことが考えられることから、文学の楽しさなど興味を持ってもらうように、子どもの文学講座等を積極的に行い支持者の拡充を図っていきたい。

令和5年度 軽井沢町植物園事業報告

1. 開園

期 間 令和5年 4月 1日（土）～令和5年 12月 25日（月）

休 園 日 令和5年 12月 26日（火）～令和6年 3月 31日（日）

臨時休園 令和5年 4月 16日（日）～令和5年 4月 18日（火）

*G7 長野県軽井沢外務大臣会合の国際メディアセンターが風越公園に設置
されることによる臨時休園

2. 入園者数

令和5年4月1日～12月25日：9,861人（前年比 +323人）

3. 事業内容

（1）常設展

・軽井沢高原に自生する植物を中心に、約 145 科 1,600 種類余の樹木や草花が集められ、生態的に無理なものは除き同じ科のものは一連の場所に比較検討できるよう植栽しています。約 20,000 m²の敷地内には、園内隅々まで見学できる観察通路が設けられています。展示館では、軽井沢の四季の変化、軽井沢の注目すべき植物、軽井沢町植物園の保全への取り組み、植物研究史等を紹介しています。

（2）企画展

①写真展「花図鑑」 期 間 4月8日（土）～12月17日（日）

②ミニ企画展「いろいろなたね」 期 間 4月～12月

（3）講座等

①植物観察会 4月9日（日）～10月22日（日）16回 参加者 228人

②講演会 9月3日（日）午後1時30分～3時00分 参加者 18人

講 師 東京大学総合研究博物館 准教授 池田博博士

③中央公民館 軽井沢再発見教室 軽井沢の草花

7月11日（火）午前10時～12時 町植物園 参加者 6人

10月17日（火）午前10時～12時 雲場池周辺 参加者 4人

④軽井沢こもれびの街講座

9月～3月に5回実施、3グループ 参加者延 53人

（4）資料の収集等

収蔵資料 約 2,851点（植物種類数 1種類を1点として集計）

①植物 約 1,600種類 ②図書 1,250点 ③標本 1点

(5) 広報活動

報道関係機関等への取材協力、見頃の植物や植物の特性等の情報提供、問合せ対応
町ホームページ 見頃の植物紹介「花だより 2023. 4～」凡そ毎週更新

(6) 施設・設備等の整備

軽井沢に自生する植物等の系統保存

- ①園内植栽植物の維持管理、寄贈植物の受入れ等
- ②絶滅危惧植物を含む多様な生物が生息・生育する草地（自然園）の保全

植物園各種整備

- ③自然園観察通路整備 チップ配置等
- ④園内観察通路整備 人工芝購入・設置等
- ⑤展示館 高窓等清掃
- ⑥入園券印刷 30,000 枚 (No. 210001～No. 240000)

(7) その他

- ①軽井沢の植物調査
- ②研究協力 ・東京大学総合研究博物館 池田准教授 ・東京農業大学 宮本教授
- ③著作活動 ・軽井沢で発見された植物について
- ④植物一般問合せ
- ⑤博物館実習受入れ
 - ・東京農業大学 生物資源開発学科 4年生 2人 9月11日（月）～15日（金）
- ⑥学校教育等受入れ
 - ・南保育園 遠足 5月17日（水）園児59人 引率9人
 - ・軽井沢高等学校 就業体験 10月24日（火）～26日（木）生徒1人
- ⑦春の軽井沢写生大会 生涯学習係 6月24日（土） 31人
- ⑧ボランティア活動受入れ 植栽植物維持管理 4月～10月 参加者1人 延36日
- ⑨種苗配布 ・山野草のタネ配布 1,000袋 4月24日（月）～5月6日（土）
 - ・ユウスゲの苗配布 300株 5月21日（日）
 - ・山野草の苗配布 ヤマユリ、フジバカマ各70株 7月16日（日）

4. 今年度の評価(現状と課題)及び今後の方向性

軽井沢に遺された希少な動植物が生息・生育する自然園において、外来植物の駆除等を実施し、その影響を減少させることで、地域の多様な動植物の保全に取り組みました。

ひきつづき地域の植物園として、地域ゆかりの植物や希少植物の保全に向け、植物それぞれの生態的な特性を調査し、得られた結果を、植物観察会や就業体験等の様々な機会に広報し、また学習支援に活用することで、町民の方が誇れるような植物園づくりを継続的に進めていきたい。

令和5年度 室生犀星記念館事業報告

1. 開館

期 間 令和5年4月29日（土・祝）～令和5年11月5日（日）

2. 入館者数 （見学無料のため職員が把握できた人数）

令和5年4月29日～11月5日： 21,546名（前年比 +588名）

3. 事業内容

開館期間中、職員により苔等の整備及び建物管理を実施

- ・4月 水道開栓、清掃
- ・11月 水道閉栓、清掃（苔庭寒冷紗掛け）

4. 今年度の評価（現状と課題）および今後の方向性

入館者数が前年比で+588名と増加しており、新型コロナウイルス感染拡大以前と比較して同程度の集客となっている。

引き続き、室生犀星が自ら手掛けた美しい苔庭の維持管理に努める。

令和5年度 ショーハウス記念館事業報告

1. 開館

期 間 令和5年4月1日（土）～令和5年11月5日（日）
※期間中無休

2. 入館者数

※見学無料のため、人数集計なし

3. 事業内容

（1）ショーハウス記念館管理

ショー記念礼拝堂司祭と委託契約を締結し管理を実施

- ・契約期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日
- ・受託者 軽井沢町大字軽井沢57番地1 司祭 箭野直路氏
- ・業務内容 施錠、窓等の開閉、館内外の清掃

（2）広報関係、広報誌、雑誌等への情報提供

- ・テレビなどの取材は、ショー記念礼拝堂とセットが多く箭野司祭に対応していただいている。

（3）その他

- ・施設・設備等の状況
ショーハウス記念館リーフレット印刷

4. 今年度の評価（現状と課題）および今後の方向性

ショー記念礼拝堂を訪れた方が入館しており、司祭により取材等の対応をしていただき円滑に事業が行われている。

施設維持については、予防保全による建物修繕を行うほか建物の周りの木の伐採など計画的に行う。

令和5年度 軽井沢型絵染美術館事業報告

1. 開館

期 間 令和5年7月1日（土）～令和5年11月5日（日）

2. 入館者数

令和5年7月1日～11月5日： 833名（前年比 +284名）

3. 事業内容

（1）展示内容

テーマ：巡礼の道で見た幻想の世界

（2）その他

・施設・設備等の状況

6月 水道開栓、清掃、作品展示

11月 展示物撤収、清掃、水道閉栓

1月 展示物（着物）クリーニング

・施設広報

他文化施設のパンフレット配布の際に、併せて案内を実施

大賀ホールや美術館などにもパンフレットを配布し周知に努める。

・図録販売 125,300円（前年比 +48,200円）

・資料管理

歴史民俗資料館学芸員にて行い、保管は歴史民俗資料館の収蔵庫に保管

4. 今年度の評価（現状と課題）および今後の方向性

入館者数が前年比+284名と増加しており、新型コロナウイルス感染拡大の影響がない平成30年度（830名）と比較しても同程度の集客となっている。

今後も展示や広報に工夫をし、入館者数の増加を図りたい。